

ユニオンファンド 月次レポート

第188号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2024年7月4日作成

MONTHLY TOPIC

政治・選挙と私たちの将来資産

政治の年の市場

今年は選挙イヤーだと年明けからずっと言われ続けていますが、すでに世界中でたくさんの重要な選挙が行われました。今後も米国大統領選挙をはじめいくつか予定されています。先月の欧州議会選挙は、フランスで総選挙の実施が決まるという思わぬ結果を生み、波乱要因となっています。決選投票前の現時点（7月4日）で、フランス議会（下院）の議席配分が大きく変化することはほぼ必至とされています。引き続きフランスの政治情勢はもとより、欧州の金融市場全体に波紋が広がっていく可能性がありそうです。

政治と経済は別物ではありますが、無関係どころか相互に強く影響し合っています。経済の混迷は政治に大きく影響しますし、政治が混乱したために経済も混乱してしまう、ということはよくあります。選挙イヤーと言われる今年に限らず、政治や社会の動きは長期的な投資成果にしばしば影響しますから、ファンドの運用者として強い関心を持ち続けることが必要だと思っています。政治への不満はここ数年非常に高まっており、世界の多くの選挙で政治の勢力図が変わりつつあることには特に注意が必要でしょう。

将来への不安に前向きに立ち向かう

政治への強い不満が暴力的な行為に発展するのは絶対に避けてほしいものですが、どれほど不満があっても何もせずおとなしく諦める、というのも良いこととは思えません。不満はひたすら我慢し、不安は気づかないふりをしてやり過ごす、ということでは、いずれ問題がさらに大きくなってしまいうでしょう。そうではなく、自分たちの行動で解決していくという前向きで建設的な気持ちを是非持ちたいものです。

不満や不安の根っこにあるのが政治でしか解決できない問題だという場合もありますが、自分自身でやるしかないもの、やった方が良いものもあります。ユニオン投信は、そうした気持ちから労働組合の仲間たちが立ち上がって作った会社です。皆さんの問題解決や不安解消の手段の一つとして使っていただければうれしいです。

ユニオンファンドは、私たちの生活を支えてくれている、言い換えれば世の中のためにも自分たちのためにもなる、成長が期待できる企業を中心に投資しています。私たちの生活に役立ってくれる企業に投資することは、それらの企業の成長とともに株価がごく自然に上昇することによって、私たちの将来の生活の原資である金融資産を増やしていくことにも貢献してくれます。これこそ投資の本質であり王道だと思います。この感じを持ち続け、長い投資の道と一緒に歩んでいけることを願っています。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2024年6月末現在)

基準価額

39,732 円

純資産総額

142 億 56 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月	2.85%
1 年	15.44%
3 年	28.87%
5 年	71.64%
10 年	104.08%
設定来	297.32%

複利年率(%)

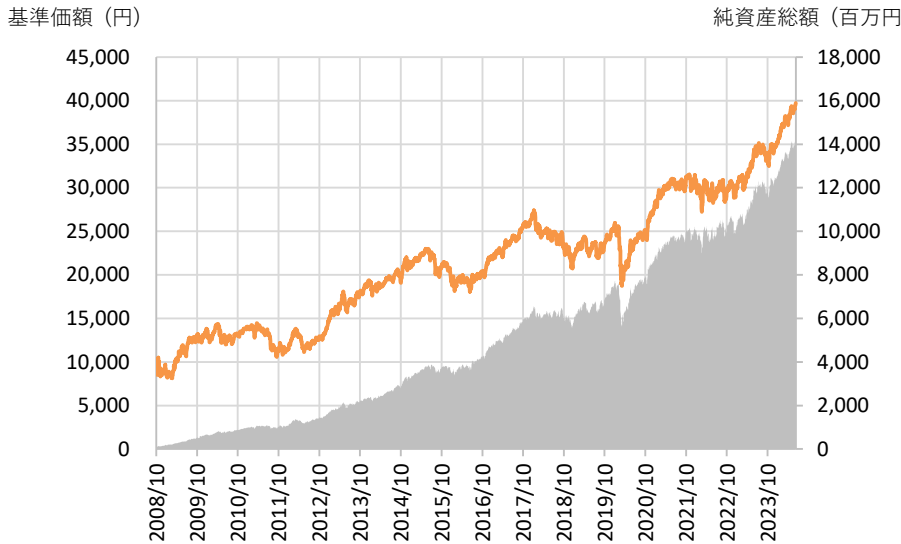
9.18%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

* 設定来、分配の実績はありません。

基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）

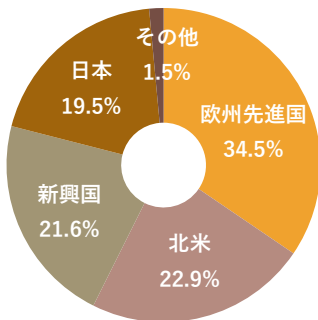


組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.8%	1.3%
スパークス F	日本	12.0%	7.6%
キャピタル F	欧米	19.9%	3.9%
ハリス F	欧米	19.0%	0.7%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	13.1%	2.8%
コムジェスト・エマージング F	新興国	18.5%	3.9%
現金等	-	12.6%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2024年5月末現在)

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2024年6月の市場動向と運用状況

投資環境

6月の世界の株式市場は堅調でしたが、市場によって好不調が若干分かれられました。米国ではFOMC（連邦公開市場委員会）が年内の利下げ回数の予想を従来の3回から1回に引き下げました。一方、消費者物価指数は下げ止まりの気配が漂っていましたが、ここにきて再び低下し始めたようです。金融当局のややタカ派的なスタンスにも関わらず長期金利が低下する要因となりました。年明け以降、利下げ時期は遠のくばかりですが、インフレの鎮静化が続くとの見方は強く、株価にはプラスに働き続けています。生成AI関連をはじめとするハイテク株の一部には、高値警戒感と投機的売買の行き過ぎの反動と見られる売り圧力によって、株価が調整に転じたものもありました。しかし金利低下基調に揺らぎがないと見られたことが支えとなり、全体として堅調を維持しました。

欧州では、欧州議会選の結果を受けてフランスで総選挙の実施が決まりましたが、右派勢力の躍進が予想されたため、政治混乱が経済にも悪影響をもたらすのではないかと懸念が高まりました。ECB（欧州中央銀行）は予想されていたとおり利下げを開始しましたが、米国の利下げピッチが遅いため、金利差が拡大してユーロ安を助長するとの懸念も強く、連続利下げの期待は後退したようです。このため利下げの株価へのプラス効果は限られました。日本株は景気の減速傾向が嫌気されて調整色の強い状態が続きましたが、月の半ば以降は反発に転じました。また、新興国株は、先月が好調だった反動もあって前半は一服状態でしたが、後半になって盛り返しました。

為替市場ではドルの堅調が目立ちました。欧州議会選後の混乱が警戒されて、ユーロが対ドルで若干値下がりしたほか、円も対ドルで下落しました。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は上昇しましたが、好調だった米国株の比重が低い一方、小幅高にとどまった欧州株の比重が高いこと、大きく出遅れる組入ファンドがあったことから、市場全体の上昇に追従できませんでした。売買は見送りました。月末の組入比率は87.4%と、ほぼ前月並みでした。

今後の見通し

世界経済は回復しつつあり、インフレも低下中と見られるため、株価上昇基調に大きな変化はなさそうですが、短期的には波乱場面もありそうに思います。米国大統領選挙の投票前後は期待や懸念が交錯して市場が荒れることが多いので要注意です。米国株は、業績や金利水準からみて割高感が強く、昨年末からの順調な上昇傾向によって投資家心理は楽観に傾いており、投資家が保有する余裕資金が減少傾向にあることも引き続き注意点です。

米国株の投資家の間には、1990年代後半に大きく盛り上がったITバブルの再現を「期待」する向きさえあります。その可能性は皆無ではないと思っていますが、仮にバブルによって株価が大きくかつ急激に上昇する場面があるとしても、それには乗らない方針です。欧州、日本、新興国には、来年になれば米国企業並みに業績の伸び率を高めると予想されながら、PERなどの株価評価尺度は割安状態を示したまま、という企業や市場が数多くあります。外部環境を見極めつつ、このあたりの比重を高めていきたいと考えています。

運用責任者 久保田徹郎

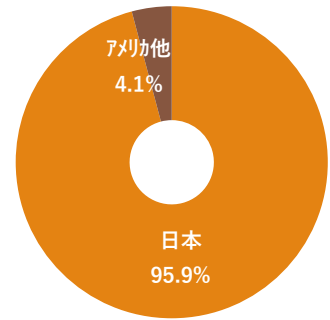
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



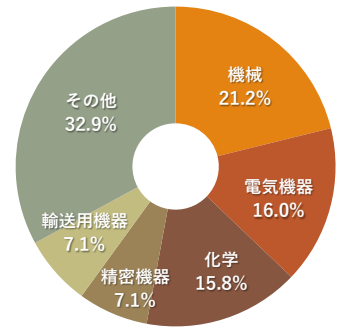
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ディスコ	5.3%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
2 信越化学工業	4.5%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
3 ダイキン工業	3.2%	日本	機械	エアコン世界大手
4 テルモ	3.0%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
5 トヨタ自動車	3.0%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
6 ブリヂストン	2.8%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
7 INPEX	2.7%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
8 デクセリアルズ	2.5%	日本	化学	電子部品、接合材料、光学材料
9 日立製作所	2.4%	日本	電気機器	総合電機世界大手
10 三菱重工業	2.2%	日本	機械	大手総合重機
上位10銘柄	31.6%	現金等	11.8%	

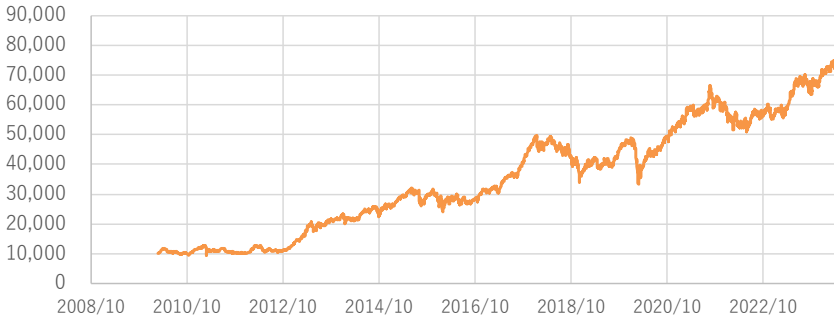
業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年6月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



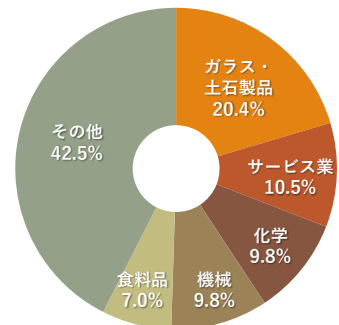
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
現金等			5.8%	

業種別構成比(マザーファンド)

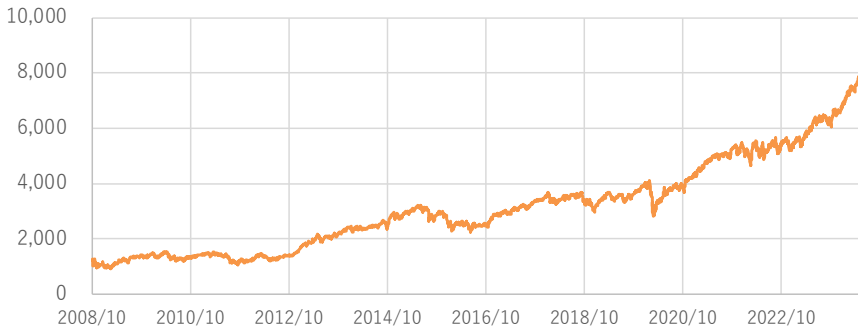


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年5月末現在 >

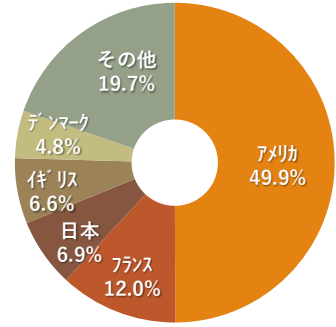
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



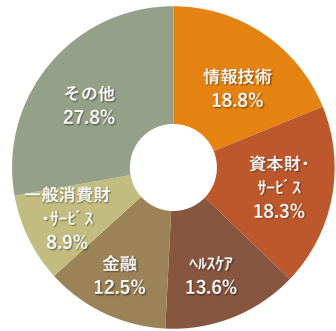
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Novo Nordisk	3.1%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 Broadcom	2.6%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 Alphabet	2.4%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
4 Microsoft	2.4%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
5 AstraZeneca	2.0%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
6 Safran	2.0%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
7 ASML	1.8%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
8 TotalEnergies	1.8%	フランス	エネルギー	国際巨大石油資本の一角
9 Apple	1.5%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
10 SAP	1.1%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
上位10銘柄	20.7%	現金等	6.1%	

業種別構成比



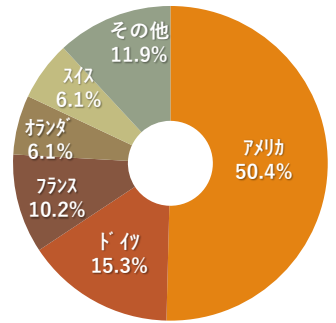
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年5月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



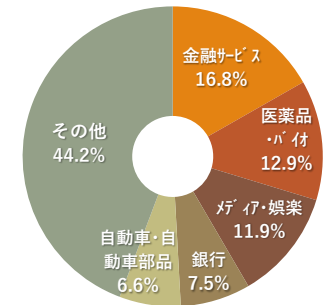
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	4.2%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 BAYER	3.9%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
3 BNP PARIBAS	3.6%	フランス	銀行	フランス大手銀行
4 IQVIA	3.6%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
5 FISERV	3.5%	アメリカ	金融サービス	金融機関向け情報処理サービス
6 BANK OF AMERICA	3.5%	アメリカ	銀行	米国大手銀行
7 MERCEDES-BENZ	3.5%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
8 CNH INDUSTRIAL	3.4%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
9 CHARTER COMMUNICATIONS	3.3%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
10 CAPITAL ONE	3.1%	アメリカ	金融サービス	銀行、クレジットカード事業等
上位10銘柄	35.8%	現金等	4.2%	

業種別構成比(マザーファンド)

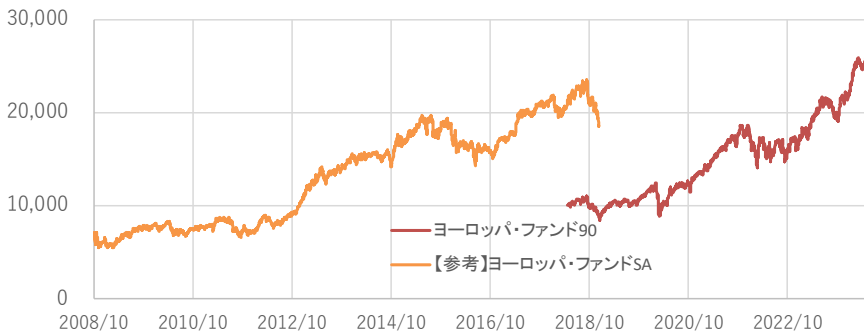


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年5月末現在>

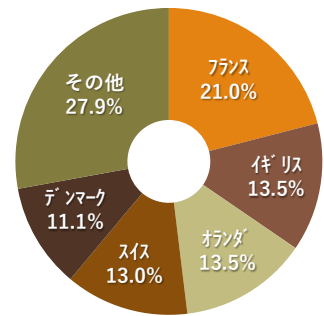
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



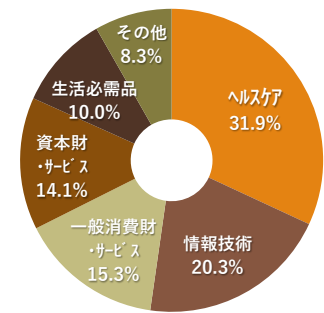
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NOVO NORDISK	9.2%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 ASML	9.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 ESSLORLUXOTTICA	4.9%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 LINDE	4.2%	イギリス	素材	産業ガス世界大手
5 ALCON	3.9%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
6 LVMH	3.9%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
7 EXPERIAN	3.9%	イギリス	資本財・サービス	データベース・分析ツールの提供
8 ACCENTURE	3.8%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
9 STRAUMANN HD	3.1%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
10 DASSAULT SYSTEMES	2.9%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア会社
上位10銘柄	49.0%		現金等	2.0%

業種別構成比(マザーファンド)



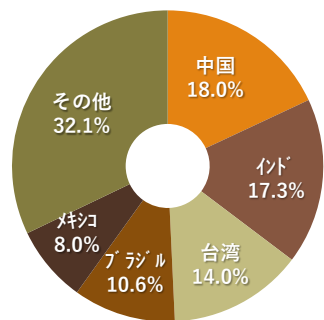
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年6月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



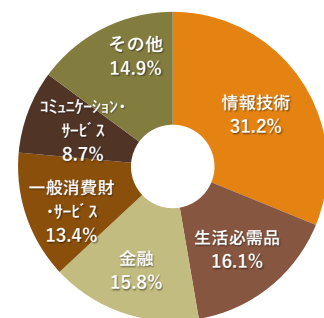
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	9.5%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 TENCENT	5.9%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
3 SAMSUNG ELECTRONICS	5.0%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 ASML	4.6%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
5 MERCADOLIBRE	4.5%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
6 DELTA ELECTRONICS	4.2%	台湾	情報技術	電源、変圧器
7 MARUTI SUZUKI	3.8%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
8 POWER GRID OF INDIA	3.8%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
9 Wal Mart de Mexico	3.5%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
10 FOMENTO ECONOMICO	3.4%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
上位10銘柄	48.2%		現金等	2.0%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年6月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

取引残高報告書について

今回、「2024年4月～6月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。
※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]		
(決算日)	取得単価	個別元本		

預り区分	課税口座（特定口座または一般口座）での預り、非課税口座（NISA 口座）をご利用の場合は「NISA（該当預りの適用年）」を表示。
数量	預り区分ごとのユニオンファンドの残高口数。
基準価額	作成日（2024年6月28日）現在の基準価額。
評価金額	預り区分ごとの作成日現在の残高の「評価金額」。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000 で算出されます。）
取得単価	預り区分ごとのこれまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均。 ※ NISA 口座でのお取引の場合は、非課税であるため参考の値です。 ※ 一般口座でのお取引の場合は、表示されません。
個別元本	全預り区分通算でのこれまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均。

以下[a]、[b]、[c]は、一つの預り区分の欄にまとめて記載（全預り区分通算の値）。

評価金額合計 [a]	評価金額の合計。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出しておりません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

【NISA 口座をご利用のお客様】

取引残高報告書の「お預り証券等の残高明細」の次項で、その年の「非課税限度額」および「作成日現在のご利用額」をご確認いただけます。*

また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書（圧着はがき）」においても、NISA 口座でお取引された場合には、その年の作成日現在の残り「非課税ご利用可能額」をご確認いただけます。

※システムの仕様上、「つみたて投資枠」についても記載されておりますが、弊社では「つみたて投資枠」対象商品の取り扱いはありません。「成長投資枠」のみのご利用となります。

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。